

重伝建

ねえねえ、おねえさん。
「ジュウデンケン」って、何？

けんねん君

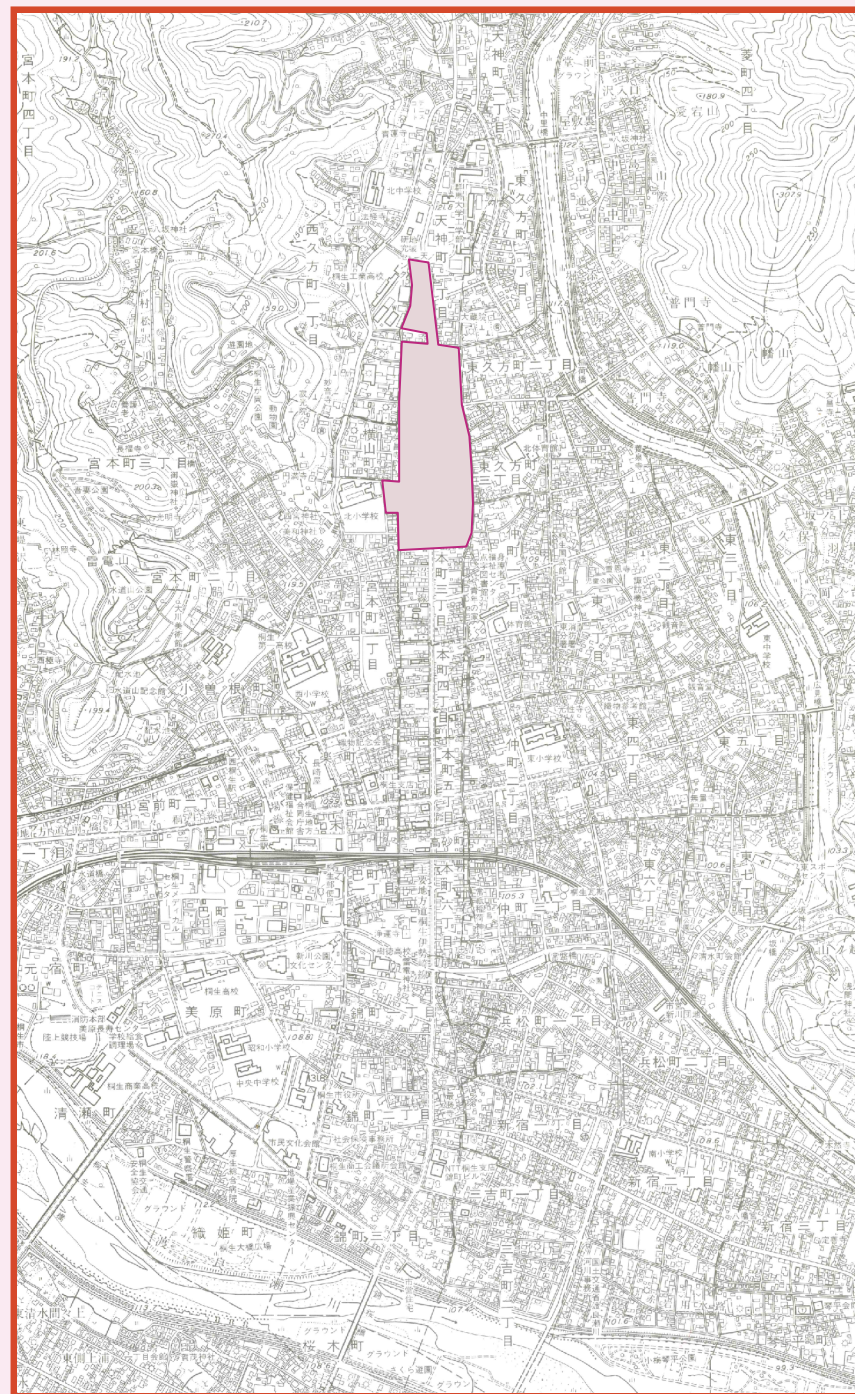


絹襴襴記念館の
イメージキャラクター

正式にはね、
「桐生新町重要伝統的建造物群保存地区」っていうの。
長いでしょう。だから、略して「重伝建」と呼んでいるのよ。
この地図を見て。



あさみお姉さん
重伝建の専門家



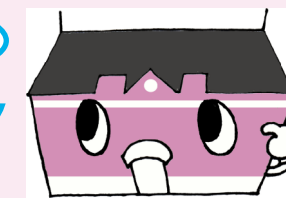
重伝建の範囲(じゅうでんけんのはんい)

赤い点線で囲まれたところは、「桐生新町」と呼ばれていた地域です。現在の本町一丁目から本町六丁目までと横山町を含む範囲で、桐生の町が造られた礎ともなった場所です。

町立てに際し、地区の北側に天満宮を遷座し、ここを起点として南北に約5間(約10m)の道(現在の本町通り)を造り、その両脇に間口6~7間(約12~14m)、奥行き40間(約80m)という短冊状の敷地割りが施され、近村からの入植者を募り住ませるなど計画的なまちづくりが行われました。

このうち、本町一丁目及び二丁目の全域と天神町一丁目の一部を含む範囲(赤い実線部分)が保存地区に指定されました。

どうして赤い実線のところだけが指定されたの？



いい質問ね。今から50年くらい前(昭和40年頃)、本町三丁目から六丁目では、商店街を近代化するために道路を広げる工事が行われたの。そして、お店の建物をそろえたり、アーケードをつくったりして、とても近代的ですてきな姿に生まれ変わったの。そのとき、本町一・二丁目は、道路を広げる工事が行なわれなかったんだって。でも、そのために昔の貴重な建物がたくさん残ったの。そこで、桐生市はこれらの貴重な建物を保存して、後世に伝えていこうと「重伝建地区」に指定したのよ。



統一されたデザインの建物が残る
本町五丁目商店街。かつては、
アーケードもあった。

